

## 平成23年度 学校経営計画書及び最終評価報告書

石川県立金沢泉丘高等学校(全日制課程)

学校長 村澤 勉

### 1 教育目標

心身一如の発達につとめて

真理を求め、勉学を第一義とすること  
情操を豊かにし、品位を高めること  
誠実にして、社会から信頼されること

正義を愛し、自らを清くすること  
自らとともに、他の人格を重んずること

### 2 中・長期的目標

#### (1) 学校の現状

- ① 本校は、創設以来「心身一如」を校是とし、調和のとれた人材育成に取り組んできた。確かな学力を身につけさせるとともに、心身共に健全で品位と良識あふれる次世代を担うリーダーの育成をめざしている。
- ② 大学進学に関しては、県内有数の進学校としての実績を収めているが、全国を視野に高い志を掲げて学習させるとともに、第一志望を実現させることをめざしている。
- ③ 平成18年度に2期目の指定を受けた文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールの研究開発が、今年度から3期目の指定を受け、更に5年間延長されることとなった。生徒の興味・関心を高める指導法の研究をとおして、理数科だけでなく学校全体の活性化を図っている。
- ④ 学校評価の実施、土曜スクール開校、校内職員研修の充実等を行い、保護者や県民から信頼される学校づくりを進めている。

#### (2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 確かな学力の育成  
進学実績の向上をめざし、質の高い教科指導と学習意欲に応える授業を組織的に展開する。
- ② 豊かな心の育成  
「心身一如」の具現化に向けた有意義な体験が展開されるよう、部活動・学校行事・社会奉仕活動等の環境整備を図り、「ふるさとを想ういしかわのリーダー」に必要な人格の陶冶をめざす。

#### (3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ① 組織の活性化と指導力の向上  
校務分掌において、副校長・教頭・主幹教諭・主任の位置付けを明確にし、学校運営の機能化を図る。教職員が互いに教育実践をとおして、計画的に指導力の向上を図る。
- ② 開かれた学校づくり  
本校の方針や特色ある取り組みを、積極的に県民に伝え、広く協力・支援が得られる学校とする。また、PTAや地域社会とも連携することによって、本校の教育活動が有機的に展開することをめざす。

### 3 今年度の重点目標

創立120周年にむけ、建学精神に基づいた教育活動の実践に努める。

- (1) 「勉学を第一義とする」をふまえ、高い学力を身につけ進路志望の実現を図る。
  - ・ 1時間の授業の大切さを意識し、意欲的に取り組む。
- (2) 「品位を高め、他の人格を重んずること」をふまえ、よりよき集団づくりをめざし、絶えず自己研鑽に努める生徒を育てる。
  - ・ 挨拶の励行、体力の向上、環境美化、成果ある部活動と生徒会活動の活性化に努める。
- (3) 「正義を愛し、社会から信頼されること」をふまえ、生徒とともに開かれた学校づくりに努める。
  - ・ 保護者懇談会、授業公開の機会拡大。地域社会と連携した生徒活動の推進。

平成23年度 学校経営計画に対する最終評価報告

石川県立金沢泉丘高等学校

重点目標	具体的取組	主担当	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析(成果と課題)および次年度の扱い(改善策)
1 「勉学を第一義とする」をふまえ、高い学力を身につけ進路志望の実現を図る。  ・1時間の授業の大切さを意識し、意欲的に取り組む。	① 校内研究授業や研究協議会などを通して、授業の質的な向上を図り、授業改善に取り組む。	教務課	【満足度指標】 生徒の授業に対する満足度が高まった。	「授業が充実しているか」について、4段階評価の平均値が、 A 3.40点以上 B 3.35点以上 C 3.30点以上 D 3.30点未満 ※ 4段階評価の基準 ・よくあてはまる …4点 ・ややあてはまる …3点 ・あまりあてはまらない …2点 ・全くあてはまらない …1点	B  4段階評価 平均3.38	・校内研究授業を5教科で実施し、教科の研究テーマに基づいた研究協議会を実施した。また、教員同士の授業参観を、1人平均7.8回実施している。 ・12月実施の「生徒による授業評価」で4段階評価の平均値は、3.38であった。(昨年3.35) ・授業研究、指導法の研究等がよく行われており、いずれの評価も良い結果が得られている。これらの取組が学習意欲と学力の向上に結びつくように、一層工夫していきたい。
	② 部・同好会の活動終了後、速やかに帰宅し、学習への切り替えができるよう、時間の有効活用について指導する。	生徒指導課	【成果指標】 部活動等から学習への切り替えができる生徒が多くなった。	「帰宅後、学習への切り替えがうまくできている」という生徒の割合が、 A 80%以上 B 65%以上 C 50%以上 D 50%未満	B  切り替えができています 69.7%	・12月実施のアンケート調査で「帰宅後、学習の切り替えがうまくできている」と答えた生徒の割合は、69.7%であった。(昨年66.8%) ・全校集会やホームルーム、個人面談、部活動等を通して、切り替えがうまくいくよう指導していきたい。
	③ 授業等による基礎学力の定着を大前提とした上で、難関大入試分析や東大・京大・医学部説明会等の充実を図り、受験集団としての意識を高める。	進路指導課	【成果指標】 受験集団としての意識が高まり、東大・京大・国公立大学医学部の合格者が増加した。	東大・京大・国公立大学医学部の合格者の合計が、 A 40人以上 B 30人以上 C 20人以上 D 20人未満	B  現役合格者は東大8名、京大15名、国公立医学部9名、合計32名	・東大・京大・医学部説明会(2・3年生)、東大副学長による進学講演会(全学年・保護者)を実施した。 ・模試等の結果を踏まえ個別指導を充実させた。また、3年学年団と連携し、生徒対象の情報連絡会を実施している。
	④ 外部講師による講演会や大学・研究所訪問により、生徒の科学に対する興味関心を高めるとともに、将来の進路選択にもつなげる。	SSH推進室	【成果指標】 講演会や大学・研究所訪問が、将来の進路選択に役立った。	「講演会や大学・研究所訪問が、進路選択に役立った」という生徒の割合が、 A 80%以上 B 60%以上 C 40%以上 D 40%未満	A  進路選択に役立った 94.6%	・外部講師による講義が8回(昨年11回)、大学・研究所訪問を15回(昨年14回)実施した。 ・1月実施のアンケート調査で「講演会や大学・研究所訪問が、進路選択に役立った」という生徒の割合は、94.6%(昨年87.3%)であった。 ・大学や研究所との連携を進め、生徒の進路選択の一助としていきたい。
	⑤ ホーム担任及び学年主任は、年間5回以上の個別面接指導を行い、生活面をはじめ、授業や家庭学習、校外模試に臨む姿勢など学習面について、個に応じた指導を行う。	1学年	【満足度指標】 個人面接指導により、生徒の学習姿勢や学力が向上した。	「学年団の指導が、自分の学習姿勢や学力の向上に役立った」という生徒の割合が、 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	B  学習姿勢の向上に役立った 88.5%	・12月実施のアンケート調査で「学年団の指導が、自分の学習姿勢や学力の向上に役立った」と答えた生徒の割合は、88.5%であった。 (昨年89.6%) ・各学年とも約5回の個人面談を行い、学習・進路等についての相談を受け、個別指導を行った。また、学年主任による面談も実施している。 ・個別指導を一層充実させていきたい。
		2学年				
⑥ 授業をより充実させるとともに、補習や個人添削等により、生徒一人一人の志望や学力にあわせた指導を、時機を逸することなく行う。	3学年	【成果指標】 個に応じた指導により、第一志望の大学への進学が実現した。	難関10大学及び国公立大学医学部の合格者が、 A 100人以上 B 90人以上 C 80人以上 D 80人未満	B  前期・後期合わせた合格者数96名	・進路指導課と協力して、東大・京大・医学部説明会や学年集会を実施し、生徒の進路意識・目的意識の向上に取り組んだ。 ・授業の充実に加え、平日補習や添削指導等によって最難関大学等の入試に対応できる二次力の養成に努めている。	
学校関係者評価委員会の評価	・授業評価の「充実度」で低い評価をしている生徒への指導を工夫してほしい。					
学校関係者評価委員会の評価結果をふまえた今後の改善策	・分かりやすい授業、基礎力の定着や応用力の育成に心がけ、習熟度別授業等の完成度を上げるべく授業研究に努める。					

重点目標	具体的取組	主担当	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析(成果と課題)および次年度の扱い(改善策)
「品位を高め、他の人格を重んずること」をふまえ、よりよき集団づくりを目指し、絶えず自己研鑽に努める生徒を育てる。 ・挨拶の励行、体力の向上、環境美化、成果ある部活動と生徒会活動の活性化に努める。	① 挨拶をきちんと行うことにより、相手を尊重する態度を育成する。	生徒指導課	<b>【成果指標】</b> しっかりと挨拶が出来る生徒が多くなった。	「自分はしっかりと挨拶をしている」と答えた生徒の割合が、 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	B 挨拶をしている 87.0%	・年間を通して登校指導を実施し、挨拶の励行を促している。 ・12月実施のアンケート調査で「しっかりと挨拶をしている」と答えた生徒の割合は、87.0%であった。(昨年88.8%) ・来校者に対する挨拶が十分でないという指摘もあり、学校生活全体をとおして、爽やかな挨拶ができるよう指導していきたい。
	② 部活動等の活性化及び競技力の向上を図る。	生徒指導課	<b>【成果指標】</b> 生徒主体の活発な部活動により、県総体の総合順位が上がった。	県総体の総合順位が、 A 3位以上 B 6位以上 C 9位以上 D 10位以下	D 総合順位 10位	・県総体では弓道(男子)、陸上(男子2名)の優勝をはじめ、2位の登山(男子)、3位のサッカーなど多くの部活動・選手が活躍した。 ・高体連の発表では、総合順位は10位であった。(昨年15位外) ・生徒の主体性を尊重しながら、競技力の向上を図っていきたい。
	③ 環境美化の意識を高め、清掃活動への取組を充実させる。	保健環境課	<b>【満足度指標】</b> 清掃活動が充実し、学校の環境美化が進んでいる。	「環境美化の取組が進んだ」という生徒の割合が、 A 85%以上 B 75%以上 C 65%以上 D 65%未満	B 取組が進んだ 77.3%	・用具の整備・補充が進み、清掃が徹底された。 ・12月実施のアンケート調査で「環境美化の取組が進んだ」と答えた生徒の割合は、77.3%であった。(昨年73.4%) ・廊下のゴミ拾いや細かい箇所の美化に心配りのできる生徒を育てたい。
	④ 魅力ある充実した図書館を目指し、蔵書管理の電算化を図るとともに、図書コーナーを充実させるなど、読書・学習環境の整備に努める。	図書課	<b>【成果指標】</b> 図書館の利便性が高まり、図書の貸出し数が増えている。	1年間(1月末現在)の本の貸出し数が、 A 4,500冊以上 B 4,000冊以上 C 3,500冊以上 D 3,500冊未満	D 貸出数 3,409冊	・1月末現在で、入館者数は12,974人(昨年18,939人)、貸出数は3,409冊(昨年3,976冊)と、共に減少している。 ・授業関連図書コーナーは生徒に好評であったが、来館者を増やすまでには至らなかった。 ・今後は、クラス掲示以外の広報活動にも努めていきたい。
	⑤ 登校時、SH、授業など、あらゆる機会を捉えて、自己責任や規則遵守の意義を理解させるための指導を行う。	1学年 2学年 3学年	<b>【成果指標】</b> 規範意識の高まりにより、遅刻が減少した。	1日あたりの遅刻者数が、学年平均で、 A 3.0人未満 B 4.0人未満 C 5.0人未満 D 5.0人以上	A 学年平均 2.7人	・1月末現在で、1日あたりの遅刻者数は、学年平均2.7人(昨年3.0人)であった。昨年に比べ1年生の遅刻者数が半減しており、1年生の規則正しい生活習慣が際立っている。 ・今後とも、余裕をもって登校するよう指導していきたい。
	⑥ 遠足、スポーツ大会、創立記念祭等の学校行事を通してクラスの団結力を高め、生徒の自主性・主体性・協調性を育てる。	1学年 2学年 3学年	<b>【満足度指標】</b> 学校行事を通して、自主性・主体性・協調性が身についた。	「創立記念祭等の学校行事に取り組むことで、自主性・主体性・協調性が身についた」という生徒の割合が、 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	B 自主性・主体性・協調性が身についた 89.9%	・遠足・スポーツ大会・創立記念祭などの学校行事に、ホーム丸となって取り組み、成功裏に終わることができた。 ・12月実施のアンケート調査で「自主性・主体性・協調性を身につけることができた」という生徒の割合は、89.9%であった。(昨年85.1%) ・学校行事に積極的に取り組むことは人間形成にも有効であり、今後も大切にしていきたい。
学校関係者評価委員会の評価	②部活動についての成果指標が厳しすぎるのではないかと。改善の必要がある。					
学校関係者評価委員会の評価結果をふまえた今後の改善策	②部活動の成果指標は指導者側の目標として設定しているが、より適切な達成度判断基準について検討する。					

重点目標	具体的取組	主担当	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析(成果と課題)および次年度の扱い(改善策)
<p>3 「正義を愛し、社会から信頼されること」をふまえ、生徒とともに開かれた学校づくりに努める。</p> <p>・保護者懇談会、授業公開の機会拡大。地域社会と連携した生徒活動の推進。</p>	① PTA活動、「いしかわ教育ウイーク」等を通して積極的に学校を公開し、保護者や地域住民との連携を強くし、開かれた学校づくりを目指す。	総務課	【成果指標】 本校の教育に対する保護者等の関心が高まり、学校公開への参加者が増えた。	PTA総会、「いしかわ教育ウイーク」、「各種講演会」における保護者・地域住民の来校者数の合計が、 A 1,000人以上 B 800人以上 C 600人以上 D 600人未満	A  来校者数 1,055人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA総会(805人)、「いしかわ教育ウイーク」(108人)、生き方講演会(142人)により、これまで約1,055名の保護者が来校された。</li> <li>・12月実施のアンケート調査で「学校は、開かれた学校づくりに積極的に取り組んでいる」と答えた保護者の割合は、92.8%(昨年92.8%)であった。今後とも、機会を捉えてPRに努めていきたい。</li> </ul>
	② ISO活動「節電・紙の節約」やリサイクル・ゴミの分別を通して、環境保全意識の向上を図る。	保健環境課	【満足度指標】 学校や地域での環境活動を通して、生徒の環境意識が高まった。	「教職員は熱心に指導を行い、信頼できる」と答えた保護者の割合が、 A 95%以上 B 90%以上 C 85%以上 D 85%未満	A  信頼できる 95.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月実施のアンケート調査で「教職員は熱心に指導を行い、信頼できる」と答えた保護者の割合は、95.1%であった。(昨年94.1%)</li> <li>・授業については、今後とも改善に努め、PTA総会、土曜エクステンション、「いしかわ教育ウイーク」などで、積極的に公開していきたい。</li> </ul>
	③ 悩みや問題を抱える生徒の早期発見に努め、すべての生徒が希望を持って学校生活を送れるよう支援する。	教育相談室	【満足度指標】 気軽に相談室を利用することで、精神の安定が保たれるようになった。	「ISO活動の実践や広報を通して、環境意識が高まった」という生徒の割合が、 A 70%以上 B 60%以上 C 50%以上 D 50%未満	C  意識が高まった 50.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO活動(ゴミの分別・節電・節水)のPRに努め、生徒の意識向上に取り組んでいる。</li> <li>・12月実施のアンケート調査で「環境意識が高まった」と答えた生徒の割合は、50.1%であった。(昨年45.5%)</li> <li>・エコ活動に関する意識の高まりを一過性のものとしなないように、更にPRに努めたい。</li> </ul>
	④ 「中学生サイエンスフェア」及び創立記念祭での「理科教室」において、理科学科の生徒等が、科学の面から地域に貢献する。	S S H推進室	【満足度指標】 「理科教室」の運営を通して、生徒の地域貢献に対する意識が高まる。	利用者のうち「気軽に相談でき、相談室は利用しやすい」と答えた生徒の割合が、 A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	A  利用しやすい 88.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月実施のアンケート調査で「気軽に相談でき、相談室は利用しやすい」と答えた生徒の割合は、88.1%であった。</li> <li>・悩みや問題が深刻化する前に、気軽に利用できるように相談室の環境を整えておく必要がある。</li> </ul>
	⑤ ホームページの更新を定期的に行い、各種行事・部活動・S S Hの様子や教育課程・進路などの情報を、よりわかりやすく発信する。	情報管理室	【満足度指標】 「学校のホームページにより、学校の様子がわかる」という保護者が増加した。	「理科教室を開催して良かった」という生徒の割合が、 A 90%以上 B 70%以上 C 50%以上 D 50%未満	A  開催して良かった 100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての生徒が「理科教室を開催して良かった」と答えた。(昨年87.5%)</li> <li>・今後とも、理科教室のような科学を仲立ちにした地域貢献を進めていきたい。</li> </ul>
学校関係者評価委員会の評価	②ISOの意識を高める工夫が必要である。 ③教育相談室の機能を高めてほしい。 ⑤ホームページや学校新聞で、本校卒業生の社会での活躍を紹介してほしい。 (その他)生徒から出ている学校設備に関する要望に応じてほしい。					
学校関係者評価委員会の評価結果をふまえた今後の改善策	②ISOについては保健委員や美化委員を中心に活動を行っている。ゴミの最終処分場の状況なども含め、一層のPRに努めていきたい。 ③教育相談の体制については、学年団、保健室、教育相談室が連携して、きめの細かい対応に努める。 ⑤卒業生の活躍の様子は、2年生で実施している「社会人と語る会」等を利用して紹介していく。 (その他)体育館の屋根の改修やトイレの改善など、可能などころから進めて行く。					